

岐阜県立東濃高等学校

学 校 長 平井 学
学校住所 可児郡御嵩町御嵩 2854-1
Tel0574-67-2136 fax0574-67-6204
ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/tono-hs/>

- | | | | | |
|---|-------|--|---|---|
| 1 | 会議の名称 | 平成26年度 第1回学校評議員会 (岐阜県立東濃高等学校) | | |
| 2 | 会議の構成 | 委 員 | 黒田 晃司
落合 亨子
渡邊 剛
藤井 真弓
安江 弘子 | 東海化成工業(株) 人事総務課長
御嵩町伏見児童館厚生員
ボランティア「輝き隊」代表
地域住民代表
東濃高等学校 PTA 会長 |
| | | 学校関係者 | 平井 学
早野 稔
片山 澄美
井藤 勝夫
大島 直人
吉田 益穂
佐口 清道 | 校 長
教 頭
教 頭
教務主任
生徒指導主事
進路指導主事
保健主事 |
| 3 | 会議の目的 | 当校の教育活動について各委員に提言及び助言を求め、もって今後の学校運営の参考とするなど、当校教育の発展に資することを目的とする。 | | |
| 4 | 会議の開催 | 平成26年7月9日(水) 13:30～15:00
岐阜県立東濃高等学校 校長室
委員5名と学校関係者5名出席 | | |
| 5 | 会議の概要 | ①学校評議員委嘱書授与
②県立高校改革リーディングプロジェクト推進事業
「演劇表現ワークショップ」参観
③平成26年度教育指導の方針と重点について説明
4部長より
④意見交流 | | |

会議資料

- (1) 会議レジュメ
- (2) 平成26年度学校経営計画（高等学校版マニフェスト）
- (3) 平成26年度学校要覧
- (4) 学校評価用紙
- (5) その他（ロボコン関連新聞掲載記事、PTA 新聞「ともしび」）

授業参観

県立高校改革リーディングプロジェクト推進事業
「演劇表現ワークショップ」参観

平成26年度教育指導の方針と重点について
平成26年度各指導部の重点について

当校教育指導の方針と重点、並びに4つの分掌の重点について
資料を参考にしながら各部長から説明する。

(1) 生徒の様子

① 本日の授業参観

- 意見1 全体として落ち着いた姿が見られ、集中力が育ってきていることがよく分かった。ゲームの中で仲間を意識し、集団の一員として活動できていた。
- 意見2 ゲームの中でお互いの気持ちを1つにして行動できていたように思う。生徒が授業に集中して取り組んでいた。
- 意見3 互いの信頼を身をもって学ぶゲームは素晴らしい。今後もこういった授業を継続して欲しい。

② 登下校の様子

- 意見4 4～5年前は、登校時に座り込んで弁当を食べる姿、道いっぱいになって歩く姿を何度か見かけることがあった。現在は、時々ゴミを落としていくことはあるが、大変良くなってきている。今後もしっかり取り組んで欲しい。地域の者として応援すると共に見守っていききたい。
- 意見5 これまで13年間、名鉄広見線で通勤しながら登校の様子を見守ってきた。以前は車内で騒いだり座り込んだりすることがあったが今は見かけない。大変良くなったように思う。これからも継続した指導を続けてもらいたい。
- 意見6 4年前から御嵩駅前まで東濃高校の生徒を見守ってきた。朝、生徒さんから「おはよう！」と声をかけてもらってる。すごく元気をもらっている。地域の人の声かけも増えており、大変うれしく思う。また、交通ルールを守り、小・中学生の手本となっている。

③地域での様子

意見 7 児童館において、年間 2 回のボランティア活動に東濃高校の生徒のみなさんに参加してもらっている。コミュニケーションもよくとれ、「素直で元気」と参加者からも高評価である。小・中学生の世話をよくみることができ大変助かる。今後とも大勢の生徒のみなさんに参加してもらいたい。

(2) 教育指導の方針と重点について

意見 8 多様な生徒の実態に合わせ、様々な支援が行われていることが分かった。学校の取り組みや先生方のご指導が、生徒一人一人の自己実現につながってきているように感じる。今日の授業参観でも「相手の気持ちがわかることの重要性」を理解させようとする学校の取り組みがよく分かった。

意見 9 企業と東濃高校との連携による特別講義を実施している。先般も工場を見学してもらい企業の取り組みを学んでもらったところである。東濃高校をこの 3 月に卒業し働く先輩の姿も見てもらうことができ、企業にとっても大切な連携であったように感じている。働く現場と学ぶ高校生をつなぎ、双方にとって意義のある活動を今後とも続けていきたい。